

## 2023年度 海洋問題演習 実施内容

学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養する応用型の教育科目であり、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチを具体的な課題に即して学ぶことが目的である。海洋に関わるトピックについて、各分野の研究者及び実務経験者から講師を得て、様々な角度からの議論を展開する。ケーススタディーという形を用いることで、専門の違いにとらわれず、問題解決に必要な知識を駆使して、受講者自らが課題解決の方策・政策を立案することを目指す。

Sセメスターは、海洋における地球的問題群の解決に向けた取り組みの中から、「海洋ゴミ・プラスチック問題」「マリンバイオセキュリティ」「海洋再生可能エネルギー」「地域創成と海」「世界にコミットする問題発掘とその具体的対応行動」の5つのテーマを取り上げ、それぞれ学内外から第一人者を招聘して講義形式で進め、Aセメスターはテーマごとに議論を中心に演習を進める。

### 1. 海洋ゴミ・プラスチック問題

第1回	4月 17日	海洋ごみ 何が?どこから?どうする?
		鹿谷麻夕(しかたに自然案内 代表)
第2回	4月 24日	プラスチック循環型経済と持続可能な社会の構築—グローバル・アライアンス・アプローチ～
		穴田 武秀(廃棄プラスチックを無くす国際アライアンス Alliance to End Plastic Waste)

### 2. マリンバイオセキュリティ

第3回	5月 8日	防疫の観点からみた水産動物の感染症の特徴 良永知義(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)
第4回	5月 15日	コイヘルペルウイルス病 / マボヤの被囊軟化症 佐野元彦(東京海洋大学 海洋生物資源学部門 教授) 熊谷明(海洋生物資源学部門宮城県水産総合技術センター 副主任研究員)
第5回	5月 22日	貝類の感染症 / 水産防疫制度の現状と問題点 伊藤直樹(東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授) 良永知義(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)

### 3. 海洋再生可能エネルギー

第6回	5月 29日	「北九州市における洋上風力の意義と実践：地方行政と港湾の目線から」 川崎 孝之(港湾空港局)
第7回	6月 5日	洋上風力発電の現状と産業振興 上田悦紀(日本風力発電協会国際部長)

### 4. 地域創成と海

第8回	6月 12日	人口20人の限界集落で始めた漁業起点の地域おこし 錢本 慧(合同会社フラットアワー 代表)
第9回	6月 19日	小さな水産加工会社・原料産地が現代のグローバル市場で生き残るために? 鈴木 崇史(鹿児島大学 水産学部助教)

### 5. 世界にコミットする問題発掘とその具体的対応行動

第10回	6月 26日	カーボンニュートラル実現に向けたブルーカーボンの役割と貢献 桑江朝比呂(国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所)
第11回	7月 3日	ブルーカーボンに係る国際動向と日本の貢献可能性 渡邊 敦(笹川平和財団 海洋政策研究所 海洋政策研究部 主任研究員)
第12回	7月 10日	商船三井 環境への取組～ブルーカーボンを中心に～ 香田和良(株式会社商船三井エネルギー営業戦略部カーボン事業チーム)